

Aging Clocks 研究会

入会のご案内

Aging Clocks研究会とは

—年齢＝誕生日の回数とは限らない

私たちが普段、老化の指標として用いるのは、暦年齢、すなわち生まれてから迎えた誕生日の数です。しかし実際には、老化のペースは個人間で大きな差異があり、年齢の増加は老化の一要素に過ぎません。近年、「Aging Clocks」という老化計測手法の開発が進んでいることをご存じでしょうか。「Aging Clocks」は生物学的老化時計とも呼ばれ、生化学的項目以外に、教育レベル、心理状態や経済状況なども含んだ広範囲な個人データを元に、AIを活用して解析することで、千差万別な老化ペースを高精度に計測する手法です。

「Aging Clocks」を使用し、人生の早い段階から老化ペースを正確に認識・制御することができたら、人々は健康寿命を延ばし、人生をより豊かなものにできるでしょう。「Aging Clocks研究会」は、下記に掲げる2つの研究課題を推進するために設立されました。①どのような因子が生物学的老化に影響を与えるのかを各因子間の相関も含めて解析し、日本人の「Aging Clocks」を作成する。②それらを元に、健康寿命の短縮に影響を与える因子を制御する方法の探索を行い、老化ペースを遅らせる介入方法を見出し、社会実装する。そして、認知症や糖尿病のようにいまだ根本的な治療法を見いだせていない加齢性疾患の発症を制御する方法の探索を進める。

このような当研究会の活動に賛同し、ご協力いただけるアカデミア、団体・企業、個人を広く募集いたします。

■ 年会費：3,000円

入会に関するお問い合わせは下記まで

お申込み・お問い合わせ

Aging Clocks研究会事務局

〒606-8225 京都市左京区田中門前町103-5 ルイ・パストゥール医学研究センター内

TEL：075-712-6009

FAX：075-712-5850

メール：info@louis-pasteur.or.jp